

# 平成20年度も健全経営を堅持 旭中央病院の財政状況

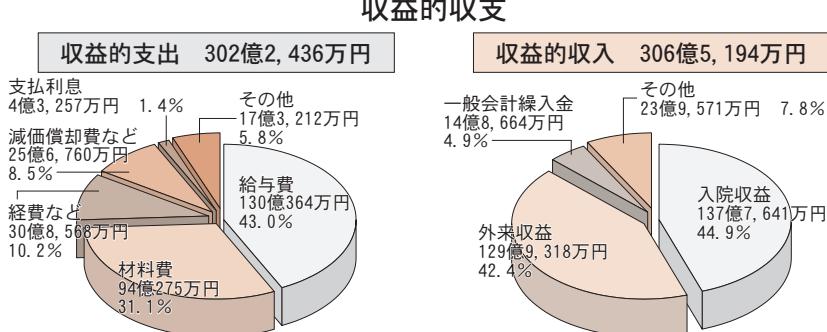
昭和28年の開院以来、健全経営を続けながら、地域の基幹病院としての責務を果たす旭中央病院。現在は、より一層の安心と信赖のできる病院を目指し、新本館建設を中心とした再整備事業に取り組んでいます。

今回は平成20年度における病院事業会計決算の概要と再整備事業の資金など、旭中央病院の財政状況をお知らせします。

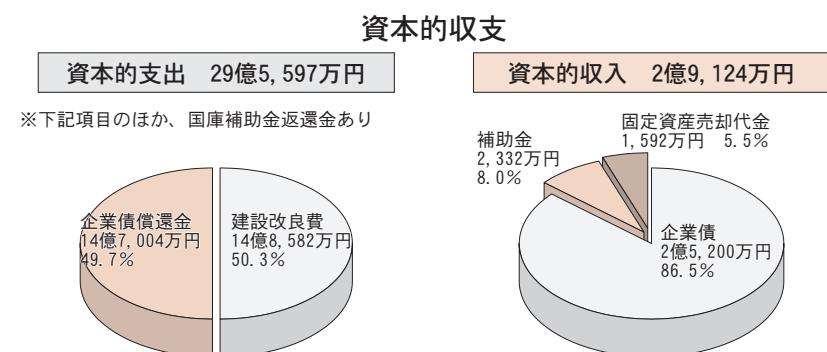
4億円の黒字決算

平成20年度旭市病院事業の決算は、病院経営のための収益的収入306億5、194万円、収益的支出302億2、436万円で、経常利益4億2、758万円となりました。

収入の構成比は、主に「入院収益」45%（137億7、64万円）と「外来収益」42%（129億9、318万円）です。



収益的収支・・・施設の運転・管理など病院経営のための収支。



資本的収支・・・病院施設などを建設・整備するための収支。

## 健全な経営の見通し

その後引っ越しなどを行い、平成23年6月には新本館での診療が開始されます。

今年1月に着工した新本館建設工事は、4月から掘削土の搬出を始め、7月からは基礎コンクリート工事、8月から免震層のコンクリート工事や免震装置の設置を経て、現在、建物1階部分の本体工事が行われています。来年9月には、最上階となる12階までの全容が現れ、外装工事やエレベーターの設置、各種検査などを経て、平成23年3月に完成する予定です。

で賄います  
借入先については、低金利で  
長期借入が可能な、政府系資金  
を予定しています。年間の返済  
額ピークは平成29年度の19億円  
(再整備以前の借入にかかる返  
済も含む) になる予定ですが、  
平成20年度の18億5、000万  
円に比べ大幅に増えるものでは  
なく、利益・損益勘定留保資金

The chart illustrates the trend of interest repayment amount and principal repayment amount from the 20th fiscal year to the 29th fiscal year. The Y-axis represents the amount in millions of yen, ranging from 0 to 4,000. The X-axis represents the fiscal year from 20 to 29. Two data series are plotted: 'Interest + Reserve Funds' (red circles) and 'Principal Repayment' (black diamonds). The principal repayment shows a general upward trend, starting around 1,800 million yen in 2000 and reaching approximately 2,000 million yen by 2029. The interest repayment amount fluctuates significantly, peaking at about 3,400 million yen in 2023 and ending at approximately 3,300 million yen in 2029.

Fiscal Year	Interest + Reserve Funds (百万円)	Principal Repayment (百万円)
20年度	3,000	1,800
21年度	2,600	1,700
22年度	1,800	1,700
23年度	3,400	1,800
24年度	3,200	1,600
25年度	3,300	1,600
26年度	3,300	1,700
27年度	3,400	1,800
28年度	3,300	1,900
29年度	3,300	2,000

問い合わせ先  
東中央病院事務部  
63-8111 (代)